

平成 25 年 3 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)**千葉県袖ヶ浦市ガス火力発電所建設向けプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約の締結について**

当行は、特定規模電気事業者である株式会社 F-Power(東京都品川区、代表取締役社長 洞洋平)が東日本大震災後の電力供給不足に対応し、エネルギーの安定供給に貢献するため、千葉県袖ヶ浦市に新設するガス火力発電所(運営会社、株式会社新中袖発電所)に対するプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約を平成 24 年 12 月 28 日に締結いたしました。このプロジェクトファイナンスは東京センチュリーリース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 浅田俊一)がアレンジし、建設にかかる費用のうち約 82 億円をローンにて調達するもので、当行のほかに株式会社横浜銀行(神奈川県横浜市、代表取締役頭取 寺澤辰磨)が参加いたします。

この事業は、スポンサーである F-Power が送電端出力約 10 万キロワットの新中袖発電所を建設するもので、ガスタービンによる発電に加え、廃熱を活用した蒸気タービンによって発電するガスタービンコンバインドサイクル発電形式を採用することから、エネルギー変換効率に優れ、重油や石炭などと比べて CO2 などの排出が少ない点が特徴です。F-Power では平成 19 年から同じ仕様の中袖ガス火力発電所を稼働しており、新中袖発電所は 2 基目となります。発電所建設のためのインフラが予め整備されているなど、発電所に適した立地での事業となります。新中袖発電所は平成 25 年 3 月に現地着工を予定しており、平成 26 年 8 月に商業運転を開始する予定です。

当行では、中期経営計画における法人業務戦略の一環として、平成 24 年 3 月に VBI 推進部を設置し、ビジネスインキュベーション業務(新事業領域の開拓および地域振興)を推進しています。新電力業界は新事業領域として推進する戦略分野でもあり、震災に起因した電力需要の逼迫を緩和する観点からも、当行では、今後とも同業界のプロジェクトファイナンスに積極的に取り組んでまいります。

【プロジェクトの概要】

事業名称	:	新中袖火力発電所プロジェクト
事業用地	:	千葉県袖ヶ浦市
発電端出力	:	106,540 キロワット
送電端出力	:	101,400 キロワット
発電形式	:	ガスタービンコンバインドサイクル発電
事業会社	:	株式会社新中袖発電所(株式会社F-Powerの100%出資子会社)
商業運転開始予定	:	平成 26 年 8 月

【F-Power の概要】

名称	:	株式会社 F-Power
代表者	:	代表取締役社長 洞 洋平
本社所在地	:	東京都品川区東五反田 5-11-1
事業内容	:	電力の売買業務および売買の仲介業務、発電および電力の供給業務、蒸気、温水、その他熱エネルギーの供給業務並びに送配電業務など
設立	:	平成 21 年 4 月 1 日
資本金	:	2 億 250 万円

【融資契約の概要】

貸付人	:	東京センチュリーリース株式会社(アレンジャー、ファシリティアージェント) 株式会社新生銀行(金利スワップ提供、ペイニングエージェント) 株式会社横浜銀行
融資金額	:	ローン総額 約 82 億円
契約締結日	:	平成 24 年 12 月 28 日

以上